

災害時における DHEATの役割

滋賀県健康医療福祉部
健康危機管理課
井上 英耶

演者が経験したことを踏まえて
本日お伝えしたいこと

1. DHEATの役割は『健康危機管理組織の長による**指揮調整機能等を補佐**』すること
2. 支援する際は『決まったことを粛々で行うのみでなく**臨機応変に対応**』すること
3. 受援される際に『**指揮調整業務**』はとても重要

演者が経験したことを踏まえて 本日お伝えしたいこと

1. DHEATの役割は『健康危機管理組織の長による**指揮調整機能等を補佐**』すること
2. 支援する際は『決まったことを粛々で行うのみでなく**臨機応変に対応**』すること
3. 受援される際に『**指揮調整業務**』はとても重要

DHEATって知ってますか？

DHEATとは

災害時健康危機管理支援チーム（Disaster Health Emergency Assistance Team）の略

【定義】

- 重大な健康危機が発生した際に、
- 健康危機管理に必要な情報収集・分析や全体調整などの専門的研修・訓練を受けた都道府県及び指定都市の職員によって組織された災害時健康危機管理支援チームであり、
- 被災都道府県等に派遣され、
- 被災都道府県等の**本庁及び保健所に設置される健康危機管理組織の長による指揮調整機能等を補佐する**ものである。

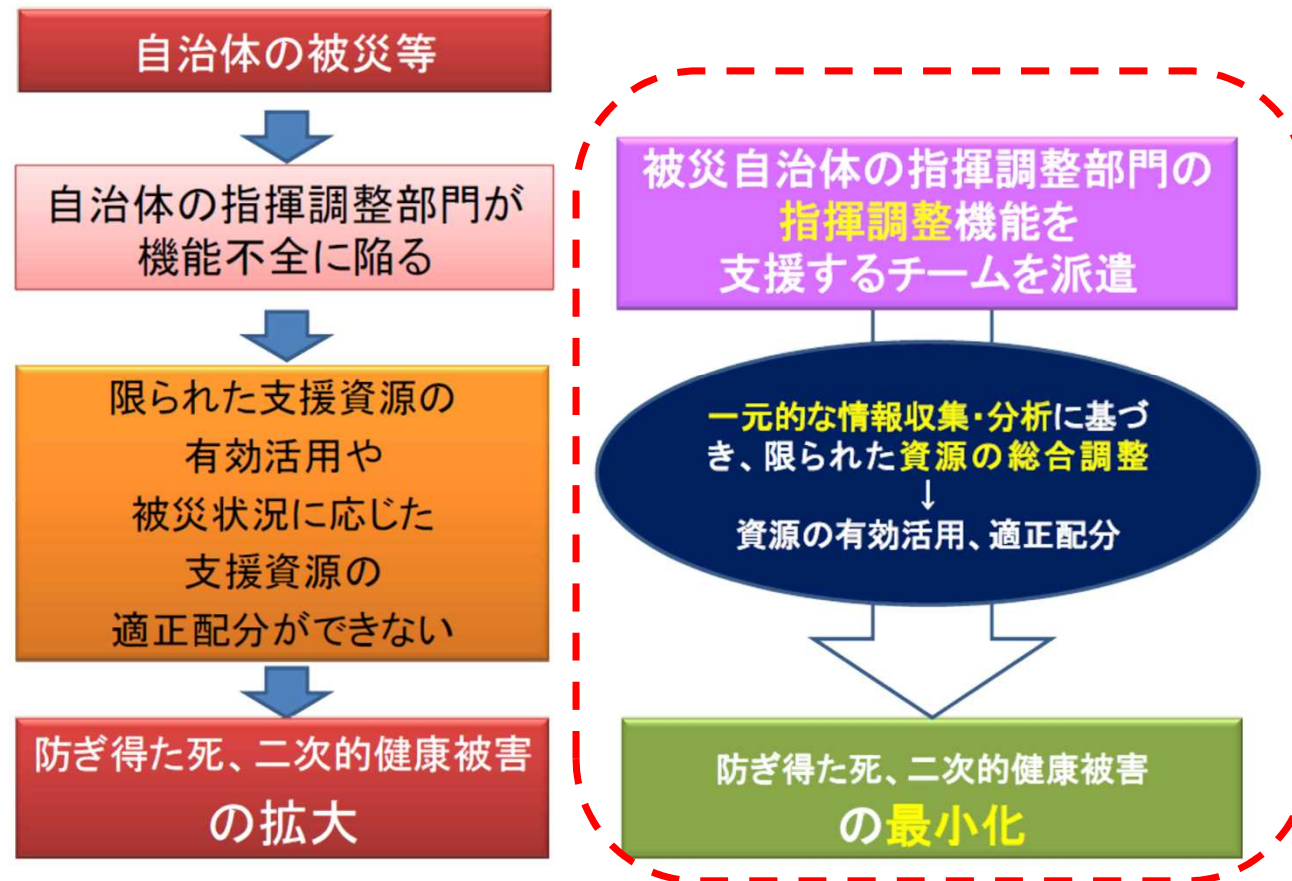
厚生労働省健康局健康課地域保健室HP『災害時健康危機管理支援チームについて』 [【link】](#)

大規模災害時は、こんな問題が発生します！

- 危機管理組織が立ち上がらない。自分は、何をしたら良いのか分からない。「司令塔は誰だ？」
- 本部に情報が来ない。来ても情報収集がバラバラで、全体が見えない。「誰が、何を、どこに？」
- 膨大な情報の処理ができない。本部に報告しても対策につながらない(が見えない)。
- 課題が見えても、人、モノ、情報が不足して対応できない。
- 多様な組織団体がバラバラに動いて不効率だ！支援者の受入が大変。受援被害だ！

DHEATの活動概要

災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の活動理念



厚生労働省健康局健康課地域保健室「災害時健康危機管理支援チームについて」より抜粋

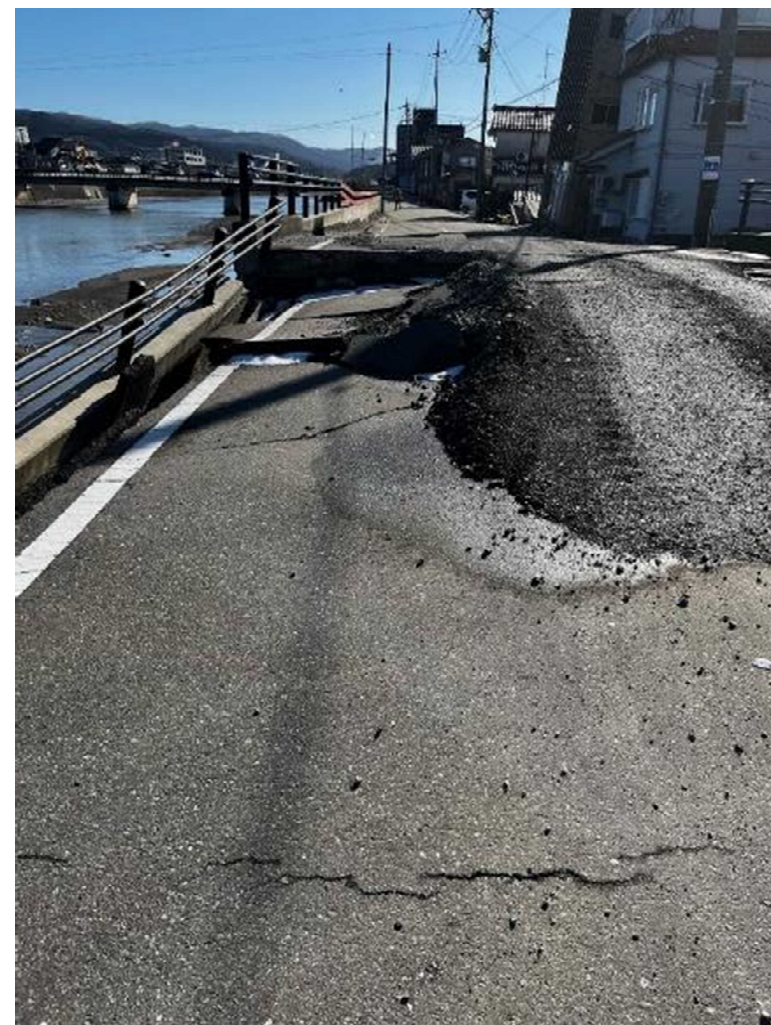
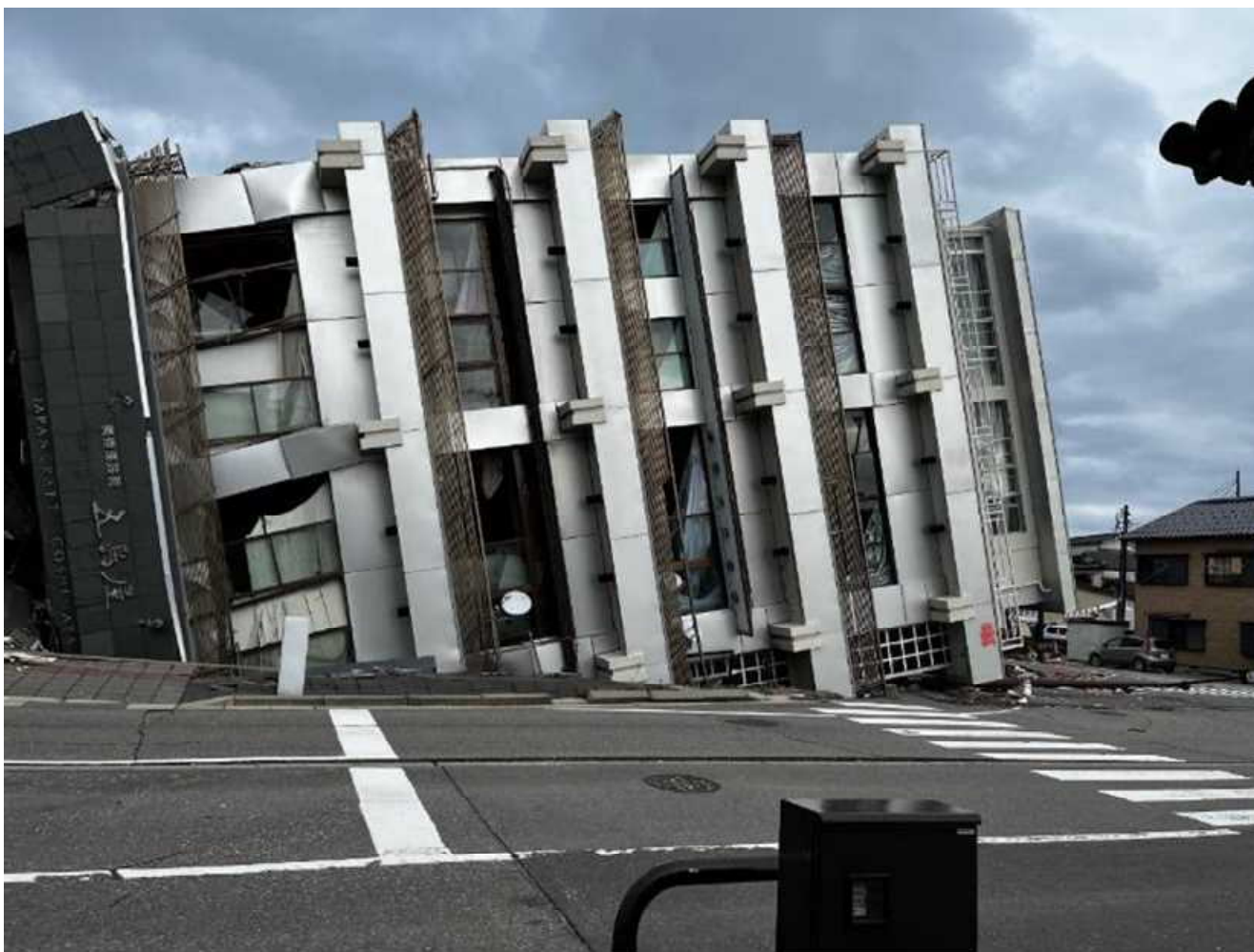
滋賀県DHEATの活動概要

目的
被災者の二次健康被害の最小化のために
能登北部保健所(1/5～1/24)
輪島市(1/25～2/1)
の機能回復を支援する

	第1班 (1/5～11)	第2班 (1/12～18)	第3班 (1/19～25)	第4班 (1/26～2/1)
各班の目標	①保健所との間で円滑な支援・受援の関係性の構築	①保健所負担の軽減（庶務的用務を含む） ②保健所が実施する輪島市市街地を除く地域支援への応援 ③管内2市2町のDHEATの緩やかな連携の維持、その中で、先進事例等の横展開を図る（変更）2市2町DHEAT活動の連携構築・調整	①保健所の負担軽減 ②地域支援への応援 ③圏域内DHEAT活動の連携構築 ④保健所業務への着地に向けた準備	①輪島市保健医療福祉調整本部の調整 ②輪島市の保健活動の支援（門前地区を含めた市全体を意識） ③輪島市職員の負担の軽減（輪島市・能登北部保健所の職員の思いや方針を共有）
体制	4人:1拠点 医師1、保健師1、ロジ2	5人:一時2拠点（門前） 医師1、保健師2、ロジ2	5人:1拠点 医師1、保健師2、ロジ2	6人:2拠点（調整本部） 医師2、保健師2、ロジ2

令和6年6月13日 能登半島地震におけるDHEAT活動検証会 加賀爪氏 発表資料

輪島市の状態（輪島市街地）



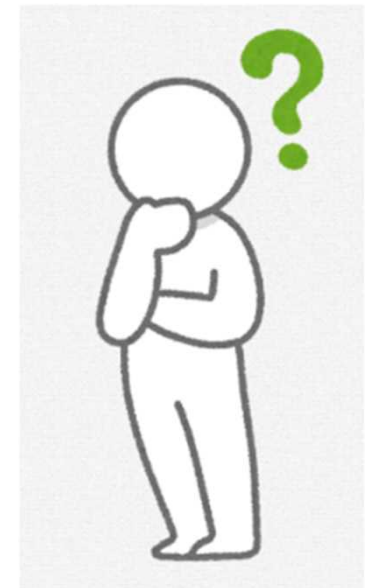
DHEAT活動（主に第2班での）を通じて感じたことを踏まえ...

演者が経験したことを踏まえて 本日お伝えしたいこと

1. DHEATの役割は『健康危機管理組織の長による**指揮調整機能等を補佐**』すること
2. 支援する際は『決まったことを粛々と行うのみでなく**臨機応変に対応**』すること
3. 受援される際に『**指揮調整業務**』はとても重要

支援に行く前までは・・・

『健康危機管理組織の長による**指揮調整機能等**
を補佐』って定義にあるから、
能登北部保健所長の指揮命令系統下で指揮調整
の業務を行っていくんだろなあ・・・



能登北部保健所

保健所の被害
職員も被災者



ロジが
給水のお
手伝い

断水は継続
職員は1階で寝泊まり

*能登北部保健所の新所長は令和6年1月10日に赴任
令和6年1月29日彦根保健所管内統括保健師連絡会議 加賀爪氏 資料

実際は . . .

- 能登北部保健所長・保健所の意向を確認した上で
 - 各関係機関との情報共有など支援
 - 保健所と各DHEAT、県、市との定期ミーティングの実施
 - 各保健師派遣チーム間の連絡体制の構築
 - 会議議事録の作成および関係機関への共有
 - 保健所内の環境整備支援
 - 保健所内のトイレを流すための水の確保、手洗い設備管理
 - 保健所職員の手洗いおよび飲用水の確保
 - 各自治体からの応援職員の保健所内でのルール作り
 - 避難所内の環境整備支援
 - 食品衛生の啓発
 - 市内の地区本部の体制構築・支援・受援調整
 - 役場、DMAT、自衛隊からの要望対応
- などなどなどなど



- 活動内容は場面場面で臨機応変に → **保健所の業務全体の補佐**
⇒面倒なこと（水汲みや資料作成など）を率先して行うことが現地の方との信頼構築に最も大事（と感じました）

演者が経験したことを踏まえて 本日お伝えしたいこと

1. DHEATの役割は『健康危機管理組織の長による**指揮調整機能等を補佐**』すること
2. 支援する際は『決まったことを粛々で行うのみでなく**臨機応変に対応**』すること
3. **受援される際に『指揮調整業務』はとても重要**

指揮調整業務の重要性（地区現地対策本部の支援経験から）

- 指揮命令系統が不明だと
 - 孤立感と不安
 - 保健本部機能の組織はあるものの・・・
 - 避難者の薬の整理や避難所の感染者の滞在部屋の食事提供、市民からの電話対応などの業務に忙殺されている＆自身も被災者で家庭もある
 - 県や市の本部はこのこと分かってる？
 - 避難所ではボランティアの炊き出しなければ1日1食（内容はカップ麺か湯煎ご飯のみ）
 - いつになったらどんな支援物資が届くのか、そのどこからその情報が来るのか？
 - 本部長一人で全ての相談をうけている状態
 - 各支援者の活動結果の活用が難しい
 - 誰に相談したら良いのか？
 - 保健師チームの巡回の結果・課題をどこに伝えたら良いの？
 - 避難所の課題をどうやって解決する？
 - 雪降るし道断裂してるし、どのルートで行くの？
 - 支援者が独自に課題の解決を図り全体像の把握困難



消防防災博物館HP [【link】](#)

地区現地対策本部

謝辞

- 滋賀県DHEATのみなさま
- 後方支援いただいたみなさま

